



「JAの自己改革に関する組合員調査」 JAとうかつ中央集計結果のご案内

Aguriculture news

JAグループ千葉マスコットキャラクター
チパンダくん



回答者数

約 **7.2** 千人

自己改革への評価

期待度 約**8割**が「期待している」

満足度 約**7割**が「満足」

改善度 約**9割**が「改善した」「もともと良い」

総合事業の継続

約**9割**が「必要な存在だと感じる」

JAの必要性

約**9割**が「総合事業を継続すべき」

農業や地域づくりの応援

約**9割**が「応援したいと思う」

准組合員の事業の利用の制限

約**9割**が「制限しない方がよい」

- 最終調査結果は、令和2年4月10日までに回収された原票について集計を実施したもので、当JAの有効回答数は7,217件と非常に多くの回答を頂きました。
- JAの自己改革について、農業関連事業が「改善した」「もともと良い」との声は約9割。また、約9割の組合員から、「総合事業を継続すべき」との声も頂いています。
- JAとうかつ中央はこれからも、組合員との対話を大切に、みなさまの声に基づいて地域に必要なサービスを提供し、利用いただくことで農業と地域を支えて参ります。

調査期間

平成30年12月～令和元年12月

調査対象者

当JA管内の正・准組合員

JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、自己改革に取り組んできました。これらの取り組みについて、組合員の皆さまからの評価をいただくため平成30年12月から昨年12月まで、「JAの自己改革に関する組合員調査」を実施しました。

本調査では、当JAで7,217人(千葉県で117,401人)の組合員からご回答をいただきました。組合員の皆さまには、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

このたび、皆さまからいただいた調査結果を、最終結果としてご報告いたします。



組合員の皆さまと可能な限り直接お会いして調査にご協力いただきました。



千葉県版の調査結果も確認できます。



とうかつ中央農業協同組合

<http://www.ja-toukatsuchou.or.jp>

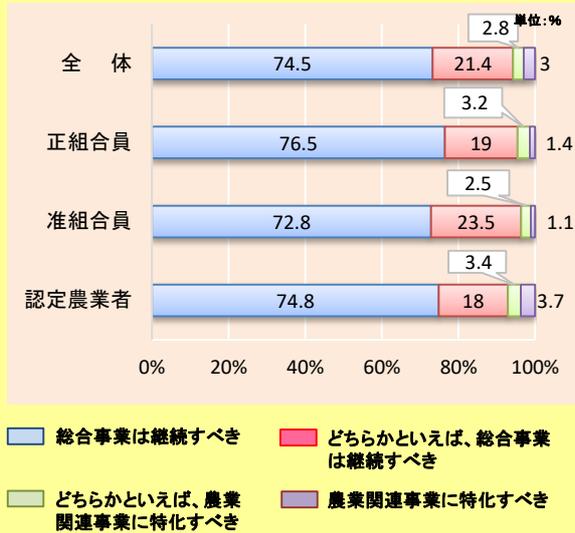
耕そう、大地と地域の未来。

01

総合事業の必要性

私たちJAグループのめざすものは、総合事業を営むと協同組合であり続けることです。調査結果では9割以上の組合員が総合事業を継続すべきとの回答をしています。JAグループの基本方向を裏付ける結果となりました。

とうかつ中央

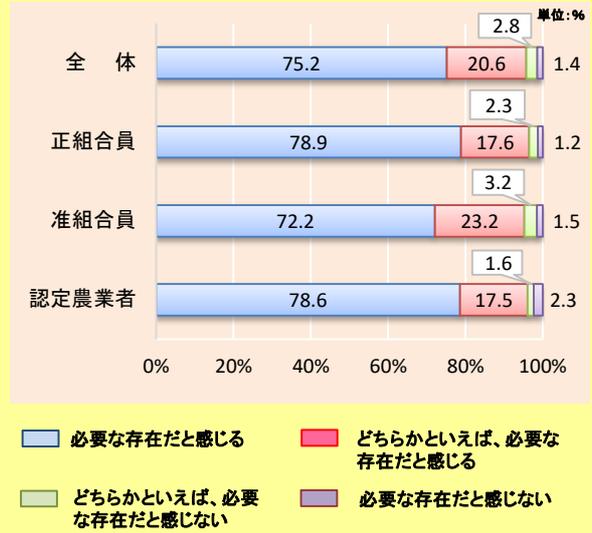


02

JAの必要性

JAの必要性に関しては、正組合員の96.5%、准組合員の95.4%が「必要な存在」「どちらかといえば、必要な存在」と肯定的に回答を頂きました。認定農業者で「必要な存在」としているのが78.6%で「どちらかといえば、必要な存在」を加えると96.1%に上り、全体の平均を大きく上回った結果となりました。

とうかつ中央

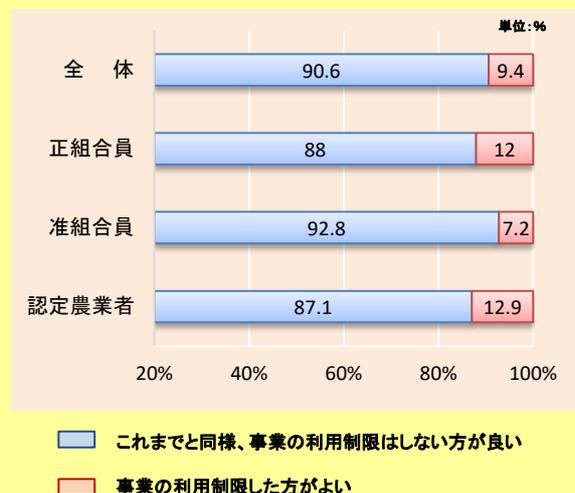


03

准組合員の事業利用制限

改正農協法では、令和3年3月末までに准組合員の事業制限を検討し、結論を得るとしていますが、組合員の9割が「これまでと同様、利用制限はしない方がよい」と回答しています。

とうかつ中央



04

JAの地域農業の 振興や 地域づくり活動

准組合員の皆さんに対する設問です。回答した准組合員のほとんどがJAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと回答しています。

とうかつ中央

